



平成 20 年 8 月 8 日

株式会社エルクコーポレーション
代表取締役社長 田中 英行
(コード番号 9833 大証第 2 部)

News Release

**大中規模医療施設向けのワークステーション/サーバ統合型医用画像処理システム
『アクエリアスインテュイション®』の販売を開始**
施設ごとに最適化されたワークフローテンプレートの構築により、より質の高い画像処理環境を提供します

株式会社エルクコーポレーションはテラリコン・インコーポレイテッド(本社:米国カリフォルニア州、代表:齊藤元章、以下テラリコン社)が開発した大・中規模医療施設向けのワークステーション/サーバ統合型医用画像処理システム『Aquarius iNtuition』(アクエリアスインテュイション®、以下インテュイション®)の受注を 2008 年 8 月 8 日より開始することをお知らせ致します。

■両社の協力関係について

当社とテラリコン社は 1999 年より製品開発・製品販売において良好な提携関係を継続してまいりました。この間、医療機関のデジタル化は急速に進歩し、これまでのテラリコン社の主力製品であるワークステーション及びサーバシステムは、医療機関デジタル化草創期からの、当社の積極的な提案により、日本市場で累計 750 システムを超える納入実績がございます。また 2009 年末には 1000 システム、2013 年末には 2000 システム超の稼働を目指しております。テラリコン社はこの間、2007 年度には米国での高性能画像診断システム市場において最も急速に市場シェアを獲得した企業に贈られる「市場シェア獲得リーダーシップ賞」、2008 年度には先進画像診断システム市場において、稀有な技術革新をもたらした企業に贈られる「技術革新賞」を受賞しております。(米国の信頼ある独立系調査機関フロスト&サバリン社)

当社とテラリコン社は当分野でのファーストムーバーとして、画期的な新製品インテュイション®の市場浸透を進めてまいります。また、「パワフルかつフレキシブルな、万能医療情報端末」の提供にむけて、製品開発・製品販売両面において、強固な提携関係を築いてまいります。

■製品の背景

この 4 月に厚生労働省が発表した平成 20 年度診療報酬改定では、電子画像管理加算が改定されました。これにより、CT、MRI、PET などの医療画像診断機器から生成された画像データを従来のフィルム運用の代わりに、デジタルデータとして病院内外の各診療科で運用・管理する環境が増えてくることが予想されています。また、ここ数年の急速な技術発展により医療画像診断機器は、血管造影用カテーテルのような従来の技術と比較して、人体に対する侵襲性がより少ない装置や検査方法が広まってきました。

その一方で、診断を解析するプロセスにおいては、医療画像診断機器から生成された 1 千~1 万スライスに上る

画像データの処理や管理が年々複雑になっているため、医師や診療放射線技師が画像データの処理や管理に余分な時間をとられてしまうと言った問題が発生しています。そのため、病院での医師や診療放射線技師の極度の不足が問題化している今、病院ではより効率的な医療の質の維持や向上のための方法が求められています。

このような医療現場で医師や診療放射線技師が直面している問題を解決するソリューションとして、テラリコン社は過去10年間に全世界で3000システム以上の3D画像処理システムを導入してきた開発実績を基に、ワークステーション/サーバ統合型医用画像処理システム『インテュイション®』を開発いたしました。“直観”を意味する『インテュイション®』は、医師による読影や解析、また患者とのコミュニケーションをサポートし、3D画像処理や計測を高速かつ効果的に行い、放射線科を中心に、循環器、脳神経外科、救急など3D画像処理を多用する医療施設において、極めて強力な支援ツールとして、医療現場における様々なワークフロー上の問題を解決いたします。

■製品の特徴

【サーバ集中処理システムにより大容量データを一元処理・管理】

サーバ・クライアント型システムの特徴を生かし、インテュイション®はすべてのクライアント端末に3Dワークステーションと同等の機能を供給します。例えば、病院内外の複数の各診療科において脳や心臓などを3D画像で閲覧が可能になります。またテラリコン社で独自開発した高速演算処理ボード「VolumePro®(ボリュームプロ)」を標準装備していますので、ネットワーク上で接続されたPC環境下においても回線速度やPC性能に依存することなく大容量ボリュームデータを高画質かつリアルタイムに処理を行えます。

これにより、院内の放射線科を中心に、循環器科、脳神経外科、救急などの各診療科におけるネットワークに接続された既設端末はもちろんのこと、院外との画像配信や情報共有を多用する医療施設において、インテュイション®は高性能ワークステーションと同等の処理を複数同時に実現する極めて強力な支援ツールとなります。

【施設ごとに最適化されたワークフローテンプレートの構築により、より質の高い画像処理環境を提供】

医師や診療放射線技師が目的の処理手順をワークフローテンプレートとして事前登録しておくことで、インテュイション®が自動的に処理プロセス全体の簡素化を行い、院内における画像作成や読影作業を迅速化することができます。医療施設毎に設定された医療画像診断機器による撮影プロトコールに応じて3D画像処理のカスタマイズが可能となり、従来時間が掛かるとされていた3D画像生成において、さらなる時間の短縮と業務効率の改善が可能となり、医師は診断自体により集中することができます。

また、ワークフローテンプレートにより実行された処理結果画像を、放射線科を中心に循環器科、脳神経外科、救急など3D画像処理を多用する医療施設においてリアルタイムで共有することができます。そのため、複数の診療科間においても、医師や診療放射線技師がステップバイステップで処理結果画像チェックすることが可能になり、インテュイション®は画像処理における情報の欠落という最大のリスクを大幅に低減することができます。

【より洗練された自動処理機能により、作業時間の大幅短縮】

CTやMRIなどの医療画像診断機器から受信した2万5千枚を超える画像データをインテュイション®が受信直後に、テラリコン社独自のアルゴリズムにより自動的に目的の処理を実施します。これにより、データのロード、分類、初期処理、時間待ちなどのストレスを大幅に緩和することが可能となりより最適化されたルーチンワーク環境を整えることができます。そのため、医師や診療放射線技師が画像データを一から処理する必要がなく、短時間で必要な結果を得ることが可能です。

■今後の展開

当社はこれまでコダック医療用X線フィルムにより培った豊富な大規模医療施設の顧客資産と、新規顧客に対し、インテュイション®活用による医療機関での効果を提案してまいります。当社とテラリコン社は、インテュイション®を、医療機関の医用画像分野でのデジタル化推進の重要な支援ツールとして医療機関に提案してまいります。また、テラリコン社と合同でインテュイション®の有用性をプロモーションしていくためのセミナーを各地で開催致します。両社のノウハウ・チャネルを活用し、短期間でのインテュイション®の導入件数の増加を狙います。

『アクエリアスインテュイション®』 AquariusNetStation iNtuition Edition / AquariusNET Server iNtuition Edition

■受注開始： 2008 年 8 月 8 日(金)

■出荷開始： 2008 年 10 月中旬

■販売定価： 1,900 万円～

■売上目標： 年間 20 億円(発売開始後 1 年間)

■製品詳細ページ： <http://www.terarecon.co.jp/intuition.html>

■テラリコン・インコーポレイテッドについて：

1997 年の設立。リアルタイム診断用ワークステーション、大規模画像処理 3D サーバ、高性能 3D ボリュームレンダリングボードなど、画像処理及び 3D 画像システムの性能、品質、機能性及びその融合を促進する製品ラインアップを継続的に開発。医学を中心とした分野での画像処理のアプリケーションに対して、独創的な画像処理技術に基づいた高度な画像システムを提供しています。米国カリフォルニア州サンマテオに本社を有し、マサチューセッツ州コンコード支店、日本支店、及びドイツ・フランクフルトに現地法人を置く、成長過程にある未公開の会社です。詳細は <http://www.terarecon.co.jp/> をご覧ください。

【本件に関するお問合せ先】

■お客様からのお問合せは

株式会社エルクコーポレーション

ソリューション営業統括本部 医療情報システム部長 石田勝也

TEL 06-6942-4911 FAX 06-6942-4904

■報道関係の方からのお問合せは

経営企画室長 藤井勝博

TEL 06-6942-4691 FAX 06-6942-0871

E-mail: info@elkc.co.jp